



第一鹿屋中 学校だより
青葉・若葉

鹿屋市立第一鹿屋中学校
令和6年2月22日 第11号
校訓『自律・協同・勤労』

今年度も、あと残り約1か月 フルマラソンならば約38km地点 あなたは、どう過ごす？

▶ 1年は、365日。
長いようで、あっという間に過ぎ去ってしまふ1年という時間ですが、いよいよ、残り約1か月となりました。

▶ 生徒の皆さんが、1年間頑張ってきたことは、まるでフルマラソンを走り抜くかのようだと思います。

残り1か月を迎えたこの時期は、マラソンでいうと残り約4km地点となります。



▶ 最初のスタート地点である4月の始業式、入学式。初めての学活…。新しいクラスの仲間や担任の先生との出会いに始まった4月から早くも11か月が過ぎ去りました。

▶ 今までの道のりでは、たくさんの挑戦や困難があったことですが、その度ごとに、創意と工夫、そして、努力で乗り越えてきたことでしょう。そうした瞬間こそが成長の証でもあったと思います。

フルマラソンも、スタート前、42kmの長さを考えると、なかなか勇気を持てず、不安で仕方ないことだと思います。

でも、フルマラソンは、最初から最後まで一気に駆け抜けるのではなく、辛抱強く一步步前に向かって進んでいくことで、ゴールが少しずつ近づいてくるものでもあります。

▶ 残り1か月は、最後の追い込みの時期。

実はこの期間の頑張りこそ、最後の一瞬こそが、最も大切であり、それがこれまで頑張ってきた全体の成績にも大きな影響を与えるものでもあります。

▶ 私は、高校3年生の頃、ゴール直前まで来ていて、「勝った」と思い込み、ゴールの手間で一瞬気を抜いた隙に、猛然とラストスパートをかけてきた競走相手に、負けてインターハイへの切符を逃した悔しい経験があります。

それだけに、そんな悔しい思いを一中生にはして欲しくない。

堂々と、最後まで全力で駆け抜ける生徒であって欲しいと願っています。

▶ さあ、生徒の皆さん。
今までの努力が報われるゴールの瞬間が近づいてきています。

自分の限界に挑戦することで、新たな可能性が広がります。

失敗や苦しい瞬間もあったかもしれませんが、それを乗り越えることが、真の成功への一歩です。

皆さんは、これまで素晴らしいスタートを切り、途中で多くのことを学んできました。

最後の1か月、自分を信じ、諦めずに前進してください。

▶ そして、周囲に目を向けてください。そこには、一緒にゴールを目指すクラスの優しい仲間がいてくれているはずです。

お互いに支え合い、力を合わせてフィニッシュラインを越えましょう。

▶ 成功は確実に訪れます。最後まで諦めず、一緒に最高の瞬間を迎えましょう。

皆さんの頑張りや努力を心から応援しています。頑張れ、一中生！

一緒に最高のゴールを目指しましょう！

**限界とは、自分の弱い心が決めるもの。
限界を広げる方法とは？どうすれば…**

▶ 限界は、時に、実際の力ではなく、心の中で決まることがあります。

そして、限界は時折、自分の信じ込みや心の中の声によって形成されることがあります。

では、限界を突破するためにはどうすればよいのでしょうか。

(1) 「限界」とはあくまで一時的なものであり、「成長するために超えないといけないもの」と捉えることが重要です。

自分がどこまでできるかを決める前に、挑戦することで本当の限界を知ることができます。

(2) 皆さんが、幼かった頃、最初はできないことがたくさんあったことと思いますが、今では「出来るようになっていく自分」がいませんか。挑戦する中で成長し、新しい可能性を知り、成長してきたからこそ、現在があるのです。

(3) つまり、自分の心が限界を決めることがある一方で、その心もまた変えることができるのです。

(4) ポジティブな思考や自分への信頼が、限界を広げ、新しい高みに挑む力となります。

例えば、『できない』ではなく、『まだできない』と考え、学びながら前に進むことが重要なのです。

失敗は成長の一環であり、限界を拓ける大切な機会です。

失敗から多くのことを学び、次に進むことで、自分の可能性を広げることができます。失敗は成功のもとであり、挑戦することで成果を得ることができます。

皆さんには、まだまだ自分でも知らない可能性や力があります。

限界は、挑戦と努力によって、広がり、そして変わります。

自分に自信を持ち、挑戦することで限界を突破し、素晴らしい未来に向かって進んでいってください。心の中にある「限界」をどんどん、突破していきましょう。



2月8日 校外での平和学習（第1学年）

1年生が鹿屋市の戦争遺跡や資料館を巡る平和学習を実施しました。来年度の修学旅行で訪れる長崎での平和学習に向け、戦争の歴史や平和の尊さを深く理解し、ふるさと鹿屋への理解を深めることを目的に行いました。

各遺跡を案内してくださったボランティアガイドさんの言葉に、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。当時の様子や戦争が人々に与えた影響を丁寧に解説していただき、戦争の悲惨さを肌で感じ、平和の大切さを改めて認識することができたようです。

今回の学びを長崎での平和学習に活かし、さらに自分の行動を見直し、平和な世界を作るために何ができるかを考えてほしいと思います。



市P連広報紙コンクール

令和5年度の鹿屋市PTA連絡協議会広報紙コンクールの審査が2月8日に行われ、本校のPTA新聞が最優秀賞に選ばれました。広報研修部の皆様おめでとうございます。以下審査評になります。

最優秀賞の第一鹿屋中学校の広報紙は、PTA事業の報告記事に加えて年間の企画があり、部活動の取材に出向くなど、依頼原稿に頼らない記事が多く読み応えがあり選出した。

本校の広報紙は、県P連広報紙コンクールに鹿屋市代表として市P連より応募されました。

小学校への乗り入れ授業

2月13日～15日の3日間、西原小学校、西原台小学校、野里小学校の6年全学級を対象とした本校英語科職員による乗り入れ授業を実施しました。

授業では、中学校での生活や行事、授業内容等を英語で紹介し、楽しく英語に触れる機会となりました。中学校生活への期待を胸に、6年生は目を輝かせながら授業に臨んでいました。授業の最後は、中学校生活についての質問が続出していました。

今後も、本校では様々な取り組みを通して、小学校と中学校の連携を深め、子どもたちの学びを繋げて参ります。



3月の主な行事予定

3/1(金)	高等学校卒業式
5(火)	公立高校入学者選抜学力検査（1日目） クラスマッチ（1年）
6(水)	公立高校入学者選抜学力検査（2日目） クラスマッチ（2年）小中リモート交流
8(金)	卒業式予行
9(土)	土曜授業・クラスマッチ（3年）
11(月)	卒業式準備
12(火)	第77回卒業式
13(水)	公立高校合格発表
20(水)	春分の日（祝日）
22(金)	公立高校2次選抜 小学校卒業式
25(月)	修了式・離任式 PTA送別会

※ 日程の変更等も考えられますので、学級通信等でご確認くださいようお願いいたします。

青少年クリーンアップ作戦（ボランティア活動）

2月15日後期期末テスト最終日の午後、生徒会主催の「クリーンアップ作戦」を実施しました。これは、生徒一人一人が学校や地域への貢献意識を高め、奉仕の心を育むことを目的とした活動です。

当日は、生徒会本部役員と、参加を希望する1・2・3年生の約100名が集まりました。

校内のトイレ清掃と校外では、学校周辺の歩道の草取りやゴミの回収を行いました。参加者は分担された場所を丁寧に清掃し、校舎内のトイレ掃除では、普段は見落としがちな場所も隅々まで掃除し、便器の中まで手を伸ばして清掃してくれる生徒もいました。校外での活動は季節外れの暑さの中、アスファルトやコンクリートの隙間に根ざした手強い雑草を粘り強く取り除いてくれました。1時間を超える活動で、校舎内外は見違えるようになりきました。

生徒会長の大平風颯さんは、「参加してくれた皆さんのおかげで、学校内外が美しくなりました。この活動を通して、奉仕の心を育むことができたと思います。今後も生徒会として、ボランティア活動を積極的に行っていきたいです。」と語りました。今回の「クリーンアップ作戦」は、生徒たちの地域貢献意識と奉仕の心を育み、生徒会活動の活性化にもつながりました。生徒会役員そして参加協力してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

